

9月の野菜の見通し

令和3年8月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	8,558	並み	10,371	107	93%	108	-	-	北海道産は高温・干ばつでの作柄不良あるも、天候良く9月は回復傾向に。秋期は秋刀魚と合わせて特売が組まれるが、本年も不漁の見込みから大根の需要は期待できず。予想入荷量はやや少なかった前年並み。見通し単価は前年・平年よりやや安い。
はくさい	9,590	並み	10,365	96	99%	100	-	-	長野産は8月中旬の長雨を受けて病害が散見される。深刻な状況ではないものの、天候次第では悪化の懸念あり。9月は副産地の北海道産も少量入荷するが、高温・干ばつで生育が遅れて増量は下旬となる模様。全体の予想入荷量はやや少なかった前年並み～微減。見通し単価は平年よりやや安い。
キャベツ	15,430	多い	16,638	120	67%	96	-	-	群馬・岩手産は雨続きによる悪影響もなく生育順調。予想入荷量はやや少なかった前年を上回り平年並み。特段の需要増は見込み難く、8月と同様の相場展開か。見通し単価は高かった前年を大幅に下回り、平年比でも1割以上安い。
ねぎ	3,797	並み	4,299	342	96%	356	311	8.2%	北海道・東北産の生育は概ね順調。8月は中旬に降雨や出荷休みで減少し価格高騰したが、下旬は数量回復して価格は軟調推移。9月に入ると学校給食の再開で幾分需要が増えるも数量面での不安なし。予想入荷量は少なかった前年を上回り平年並み。見通し単価は前年・平年をやや下回る。
きゅうり	7,161	少ない ～ 並み	7,448	346	87%	329	292	4.1%	8月中旬以降、成り疲れや天候不良から東北産が減少し相場高騰している。出荷は徐々に回復に向かっており、高値疲れもあって9月は相場反落となる見通し。予想入荷量は前年・平年をやや下回るも、価格の下落局面なことから見通し単価は平年の1割近く安い。

9月の野菜の見通し

令和3年8月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績*	平年比 見込**	5カ年* 平均	前年実績*	前年比 見込*** (%)	5カ年 平均*	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
なす	3,110	少ない ～ 並み	3,097	335	119%	379	8	0.3%	8月中旬の大雨や気温低下を受けて数量は大幅に減少中。その後は天候良く気温が上がったことから生育も好転し、9月には増量が見込まれる。予想入荷量は前年・平年を下回り、見通し単価は平年よりわずかに高い。
トマト	7,018	並み	7,122	374	96%	419	274	3.9%	北海道・東北産が高温の影響を受けた段の収穫に入ったことや、8月中旬の気温低下を受けて数量減少中。9月に入ると高値疲れから相場は軟化する予想だが、数量面では大幅な増加は見込めず。月後半は北日本産地の出方が落ち着き、千葉産が増量となる。予想入荷量は前年・平年並み～微増。見通し単価は前年並みも平年比では1割安。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)*、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)**、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)***

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)